2024年度（2025年3月）
大腸がん啓発活動報告書

主催

公益財団法人
日本対がん協会

後援

石川県　福岡市

【概要】

結腸・直腸に出来るがんを大腸がんと呼びます。現在の日本では年間約15万人が新たに大腸がんと診断されており、罹患者数が最も多いがんです。(*1)

大腸がんは早期に発見し適切な治療を受けることで、約9割が完治することができる(*2)といわれています。また、進行がんであっても、近年新しい治療方法が出てきており、長く付き合えるがんになってきています。

日本対がん協会では、毎年３月の大腸がん啓発月間に大腸がん検診によってひとりでも多くの命を守ること、そして大腸がんになっても安心して暮らせる社会の実現をを目指し、大腸がん検診受診の推進と、大腸がんと向き合うサバイバー（がん患者・経験者）を応援する大腸がん啓発活動を行っております。

2024年度も点灯にご協力いただいた施設をはじめ、多くの皆様のご協力をいただきました。ありがとございました。

*1：国立がん研究センター がん情報サービス
*2：大腸癌治療ガイドライン 医師用 2022年版

【ブルーリボンについて】

ブルーリボンは国際的な大腸がん啓発リボンです。
2000年、当時のアメリカ大統領が3月を大腸がんの啓発月間と制定しました。

【大腸がん専門医・体験者からの応援動画】

専門医による講演動画と、大腸がんサバイバーによる体験談動画を新規作成し特設サイトに掲載。約1か月の間で合計5万回以上再生されました。
あわせて過去の啓発動画・体験談動画もご視聴いただけるようにいたしました。

2024年、大腸癌治療ガイドラインの改定がありました。大腸癌治療の１つである「薬物療法」について山口先生に詳しく解説いただきました。内容は、固形癌の薬物療法の目的から、治療の選択肢、切除不能進行大腸癌・再発大腸癌に対する薬物療法、大腸癌の標準治療、最新情報まで多岐に渡りました。

池田さんは、健康診断で要精密検査の通知が届いていたにもかかわらず、そのまま約１年放置してしまいその後、お尻に痛みが出て耐えられなくなり受診し、直腸がんステージⅣと言われ手術を受け永久ストーマを造設しました。治療を頑張りつつ、ご夫婦で趣味を楽しまれていることなどお話しいただきました。

篠﨑絵美さんは2009年12月、妊婦検診で膣壁腺がんが見つかり3度手術を受けました。その後、無事に2人の子どもを出産し幸せな日々を送っていましたが、2018年に再発。更に大腸と膣壁が癒着していることが見つかり膣がん術後局所再発・転移性直腸がんと診断されました。病院や、患者会などの子供向けサポートを受けつつ、家族皆でがんと向き合って来たことをお話しいただきました。

動画・登壇者	YouTube再生数 （2025/3/1～3/31）
2024大腸癌治療ガイドラインを踏まえて～ 公益財団法人 がん研有明病院副院長 消化器内科部長 山口研成先生	464回
大腸がんの体験談　Short Story 池田和泉さん	25,643回
大腸がんの体験談　Short Story 篠﨑絵美さん	24,602回

【2025年3月 19施設ライトアップ詳細】

さっぽろテレビ塔
2025年3月22日

東京都庁第一本庁舎
2025年3月1日～3月8日

隅田川橋梁群
2025年3月1日

首都高速道路
レインボーブリッジ
2025年3月1日～3月8日

神奈川県庁本庁舎
2025年3月10日～3月12日

横浜市庁舎
2025年3月10日～3月14日

横浜市立みなと赤十字病院
2025年3月17日～3月22日

金沢城石川門
2025年3月16日～3月18日

金沢港クルーズターミナル
2025年3月14日～3月16日

相澤病院
2025年3月17日～3月21日

京都市役所本庁舎（塔屋）
2025年3月3日～3月7日

大阪城天守閣
2025年3月14日

岡山城
2025年3月7日

岡山県庁正面玄関ピロティ
2025年3月1日

香川県立白鳥病院
2025年3月1日～3月31日

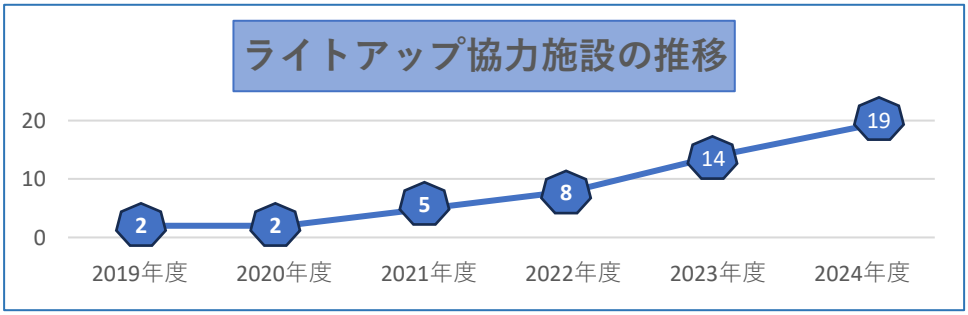
高知城
2025年3月1日

博多ポートタワー
2025年3月9日

熊本大学病院
2025年3月17日～3月20日

一宮西病院
2025年3月23日～3月29日

地域のシンボル的な建物・城等や中核病院などを啓発カラーのブルーにライトアップをしていただき、大腸がん検診受診を呼びかけます。2024年度は19の施設にご協力いただき、北海道、本州、四国、九州で点灯されました。



【Dress In Blue Month !!】

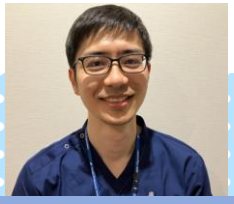
大腸がんサバイバー、医療者、一般の方、企業の方々から啓発カラーの青いモノを身に着け撮影された写真にサバイバーさんへの応援コメントを添えてお送りいただきました。
2024年度は45件のお送りいただき特設ページ内に掲載しました。

一部掲載

オストメイトだからこそ言える「大腸がん検診に行こう」／日本オストミー協会三多摩支部

≪大腸カメラを‼≫オフ会、元気で楽しい時間を過ごしパワーチャージ出来ました／ピアリング・ブルー 名古屋オフ会

大腸がん仲間に支えてもらっています／大腸がんサバイバー



大腸がん治療の発展に貢献できるよう頑張ります！／森良太／大阪国際がんセンター 大腸外科

啓発カラーのブルーを通して大腸がん検診の輪がひろがりますように。／NPO法人ブレイブサークル運営委員会

【オンライン会議用背景画像プレゼント】

初の試みとなったオンライン会議用背景画像プレゼントは、ブルーリボンライトアップにご協力いただいた施設の写真を使って制作。どなたでもダウンロードできるものとし、関心がある方だけでなく、背景画像を目にした方への啓発も考えました。多くの方の目に留まることで、啓発月間の認知向上をめざしました。
ダウンロード数：99回（日本対がん協会ホームページより）

【アンケート結果】

WEBサイト訪問者からの声

N=12

直腸ステージ4。転移数回で手術だけでも10年以上生きられる事を知ってもらい、少ない確率ですが希望を持って治療して欲しい。

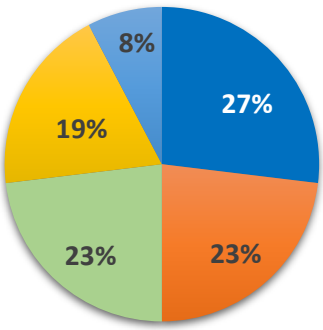
夫を亡くしてからこんなサイトやこんな相談できるところがあったんだと思う事ばかりです。こちらのサイトももっと沢山の人の目に見てもらえるよう、心から願っております。私も検診しようと思います。

ライトアップ協力施設からの声

館内アナウンスを入れて入院患者さんにライトアップを観てもらった。キレイ！！と笑顔になってもらえました。

役立った項目

※複数回答



【まとめ】

2024年度の大腸がん啓発月間は、既存のサイトをより見やすくするためのリニューアルから始まりました。情報をわかりやすくお届けすることを目指したことで、アンケートでは約９割の方に「みやすい」というお声もいただいております。

またYouTubeの配信動画には大変多くの方にご視聴いただきました。体験談や専門医の講演を通して、検診の大切さや身近な方とのコミュニケーションのヒントなどに役立てていただけたかと思います。

必要な人に必要な情報が、また大腸がんについてご興味がなかった方にもこの啓発月間をきっかけに知識の向上や検診受診につながるような情報発信を今後も心掛けて活動をしてまいります。点灯にご協力いただいた施設をはじめ、多くの皆様のご協力をいただきました。ありがとうございました。

公益財団法人
日本対がん協会
東京都中央区築地5-3-3 築地浜離宮ビル7階
TEL : 03-3541-4771 / Fax : 03-3541-4783 / Mail : gsc@jcancer.jp